平成 24 年 5 月 11 日

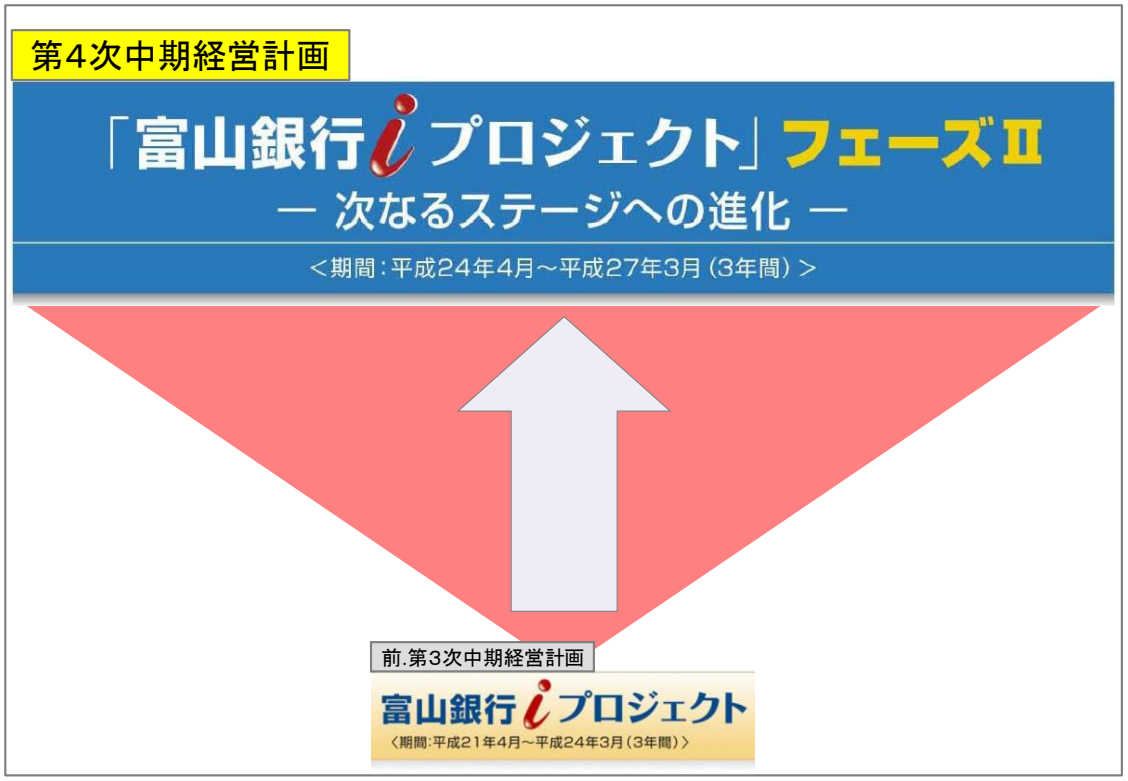
各　　位

会　社　名　　株式会社　富　山　銀　行
代表者名　　取締役頭取　齊藤　栄吉
（コード番号 8365　名証 第２部）
問合せ先　　取締役経営企画室長兼総合企画部長
森永　利宏
（ＴＥＬ　0766－21－3535）

第４次中期経営計画の策定について

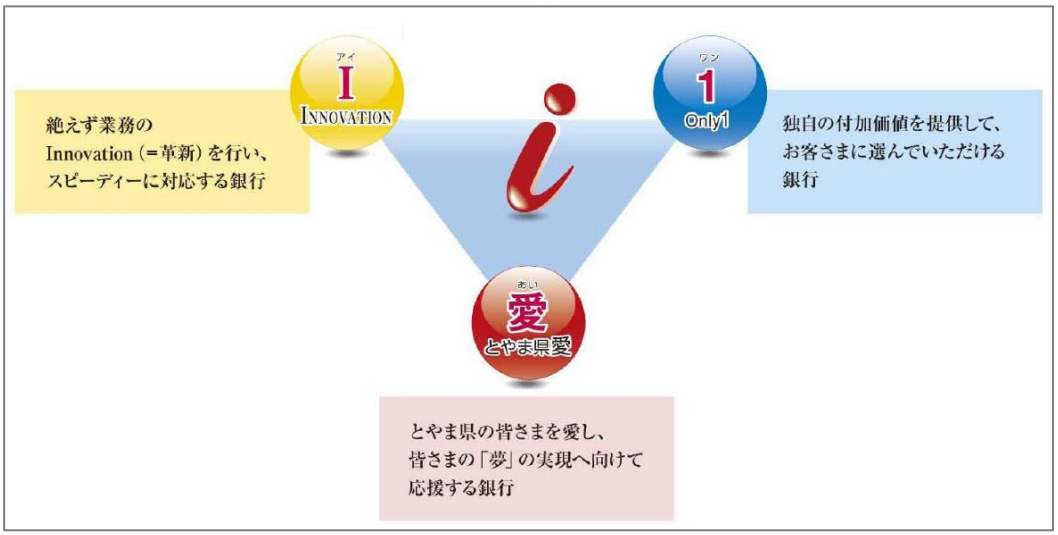
富山銀行（頭取 齊藤栄吉）では、今後３年間（平成 24 年４月～平成 27 年３月）を計画期間とする第４次中期経営計画を策定致しましたので、概要をお知らせ致します。

１．計画の名称



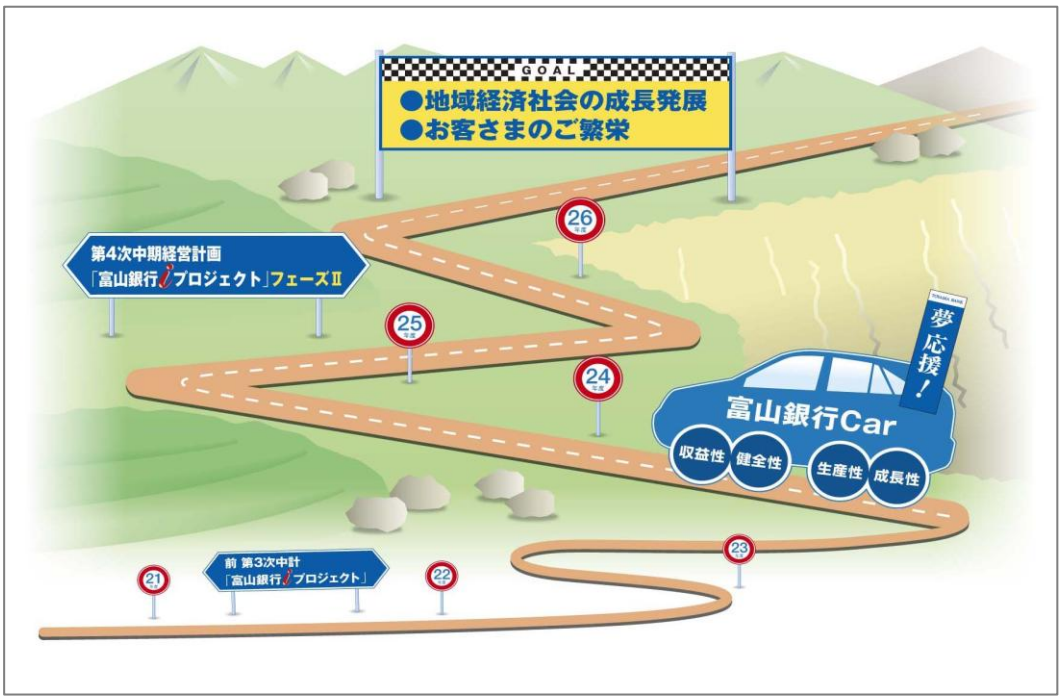
当行では、前年度までの３年間（平成 21 年４月～平成 24 年３月）、第３次中期経営計画『富山銀行iプロジェクト』に基づいて、経営基盤の強化に取組んでまいりましたが、今後３年間の指針となる新しい第４次中期経営計画の名称は、“『富山銀行iプロジェクト』フェーズⅡ ―次なるステージへの進化―”と致しました。前中計の理念を継承しつつ、更なる進化を目指しています。

２．目指す銀行像



“『富山銀行iプロジェクト』フェーズⅡ”の「ｉ」には、「愛（あい）」「Ｉ（アイ）」「１（ワン）」※の３つの意味が込められており、それぞれが当行の「目指す銀行像」を表現しています。

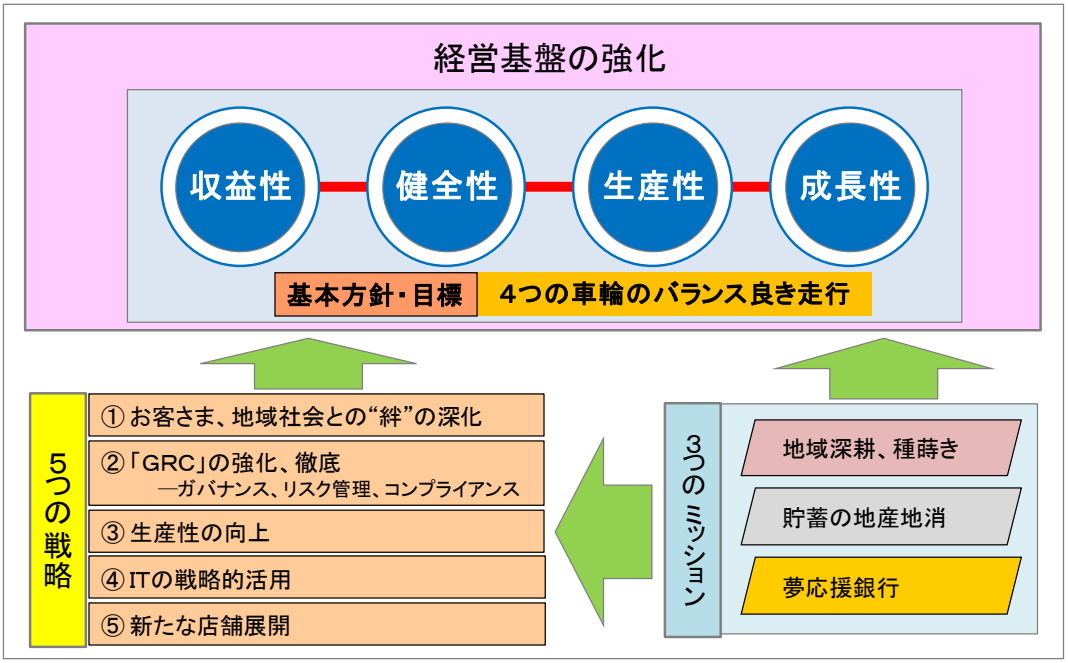
※　「ｉ」はローマ数字の「１」を表します。



当行にとっては収益性、健全性、生産性、成長性４つの指標全ての向上が必要であり、どの指標たりとも疎かにすることは出来ません。言わば４指標は富山銀行という４WD（＝４輪駆動）車のタイヤ（＝車輪）であり、当行が前進するためには４つの車輪全てがバランス良く回転・機能する必要があります。

今後３年間（平成 24～26 年度）についても、４つの車輪をバランス良く回転させたうえで、第４次中期経営計画という道標に沿って、お客さまのご繁栄および地域社会の成長発展というゴールを目指して走行してまいります。

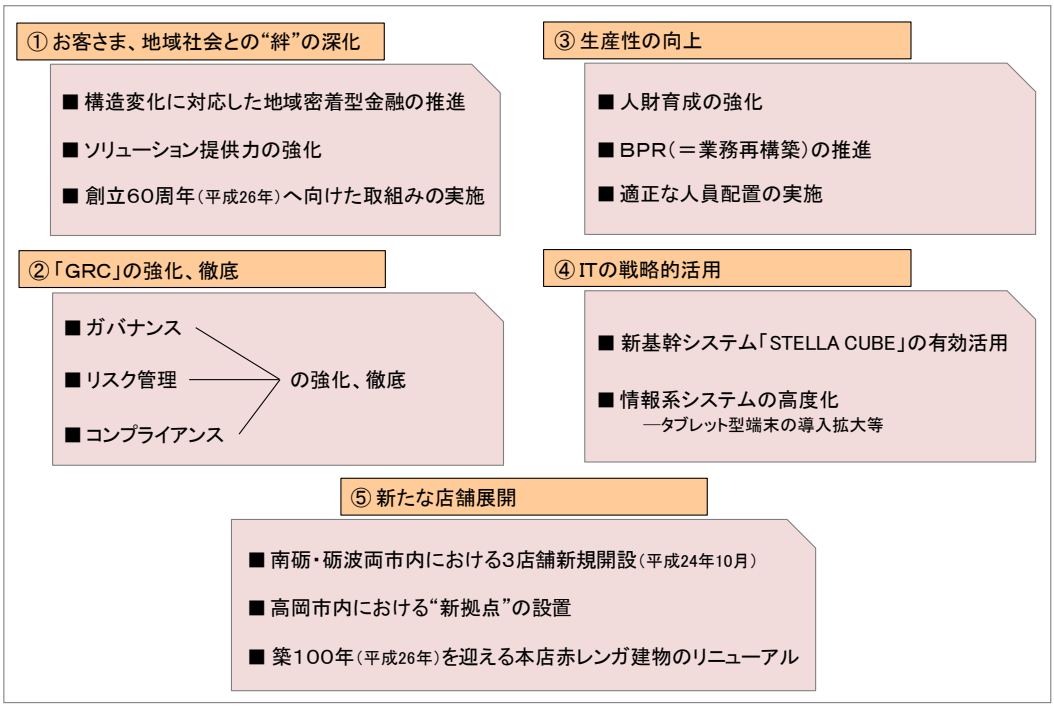
３．計画の全体概要



従前より当行が自らに課している３つのミッション（＝使命）に基づき、第４次中期経営計画では、５つの全社的な戦略を設定しました。

この３つのミッションと５つの戦略を原動力として、基本方針・目標である「４つの車輪のバランス良き走行」を実践しつつ、引続き経営基盤の強化を図ってまいります。

４．各戦略の代表的施策



５つの戦略それぞれの代表的施策として、今後３年間、上記取組みの実施を予定しています。

５．数値目標（＝具体的管理項目）

指 標	項　目	平成24年3月末 実 績	平成27年3月末 目標数値
収 益 性	コア業務純益	14.9億円	15億円
健 全 性	中核資本(Tier Ⅰ)比率 ［単体］	8.67%	8.7%
成 長 性	預貸金総和	6,513億円	7,000億円
生 産 性	預貸金総和／1人当たり	17.8億円	20億円

４つの指標それぞれについて上記項目を数値目標として設定したうえで、今後３年間、目標達成に向け取組んでまいります。

以　上

本件に関するお問い合わせ先
富山銀行 総合企画部（西尾）
ＴＥＬ 0766 - 21 - 3535